

HAT CROSS

神戸赤十字病院広報誌
2008 vol.18

「HAT健康セミナー」「糖尿病教室」開催しています!



第19回 HAT メディカルセミナーの様子

当院には、地域住民対象の「HAT健康セミナー」と、患者さま対象の「糖尿病教室」という健康講座があります。

「HAT健康セミナー」は3ヶ月毎に、「糖尿病教室」は1コース5日間で毎月開催し、多数の方にご参加いただいております。

5月の「HAT健康セミナー」は、「老後を安心して過ごすために」介護保険制度と訪問看護（神戸赤十字居宅介護支援事業所、訪問看護ステーション 所長 山崎京子）でした。

厚生労働省の予測では要介護、要支援者認定者は平成19年の約450万人から、平成26年には約640万人に達すると予測されています。神戸市内においても、平成26年には高齢者は38万人を超え、高齢化率は25%に達します。このような状況の中、高齢者の介護保険サービスの需要は今後拡大されていくと予測され、サービスの二環としての訪問看護もますます需要が大きくなつていきます。

今回、研修に参加された病院入院中のご家族様からは、在宅に帰るにはどういうサービスが受けられるのか？又、地域の方からは、今後、夫や妻が介護保険サービスを必要となった時、どうしたらよいか等と切実な質問も多数ありました。

当院のケアマネージャー並びに訪問看護師は、入院中から患者さまと積極的に関わりをもち、安心して在宅生活が出来るよう援助してまいりますので、何なりとご相談下さい。



「めだかの学校」シンボルマーク

「糖尿病教室」は事前にご予約していただければ、どなたでもご参加していただけます。「めだかの学校」という神戸赤十字病院糖尿病友の会もあります。

日本の糖尿病患者数は年々増え続け、今や中高年の3人に1人は糖尿病またはその予備軍といわれています。この生活習慣病の代表選手ともいえる糖尿病は、病院で治療を受ければ治るという病気ではありませんが、かといって「不治の病」でもありません。しかし正しい治療が行わなければ「恐ろしい病気」であることも間違ひありません。そのため、患者さま自身が日常生活の中で正しい糖尿病知識をもって自己管理が行えるよう、当院では糖尿病学会認定の専門医療養指導士が中心となり、病院スタッフチームがお手伝いをさせて頂いています。毎月開催される当院の糖尿病教室を是非お役立て下さい。

HAT健康セミナー
参加12回達成記念表彰

おめでとうございます!!



山崎所長と
福山 ツルエさん、中元 和子さん

みなさまのご参加お待ちしております。

『チームとしての 全人的医療をめざして』



村上心療内科部長

心療内科部長 村上 典子

心療内科

心療内科としての入院治療は行なっていますが、主治医や看護師、コメディカルスタッフと協力しながら、他科入院患者（がん、重症多発外傷、脊髄損傷など）への心理的サポートを行ない、患者様の身体の病気だけではなく、こころや社会的背景をも考慮した「チームとしての全人的医療」を目指しています。

当院の特色として、「赤十字病院」として災害医療に貢献する使命を担っていることから、併設する兵庫県災害医療センターと連携しながら、災害医療にも積

〈心身症とは〉

身体疾患の中で、その発症や経過に心理社会的因子が密接に関与し、器質的ないし機能的障害が認められる病態をいう。ただし、神経症やうつ病など、他の精神障害に伴う身体症状は除外する（1991年日本心身医学会の定義）。

心療内科とは、ストレスや悩みなどの心理的な問題によっておこる身体の病気（症状）を診る科です。ストレスがかかった場合、「こころ」と「からだ」は互いに関連しあい、さまざまな症状をひきおこします。当院心療内科は内科出身の心療内科医として、こうした患者さまの「こころとからだの治療」を一緒におこなっていきます。

外来診療では、過敏性腸症候群や緊張型頭痛などの心身症、慢性疼痛（通常の鎮痛剤だけでは効かない痛み）、身体症状を主とする軽症うつ病、パニック障害、自律神経失調症などを主に診ています。心療内科では、初診の際に十分な時間をかけて今までの病状をお聞きし、身体を診察し、病状の見立てを行い、治療方針を立てた上で病状説明することが非常に重要になってきます。そのため、初診を「完全予約制」とさせていた

心療内科スタッフ



前方左から）村上典子部長、永岡三穂医師
後方）島津由美心理療士

**第46回日本心身医学会近畿地方会
第30回近畿地区講習会**

テーマ「全人的医療の核となる心身医学をめざして」

会長 村上 典子
(神戸赤十字病院・心療内科部長)

会期 平成20年7月26日(土)

会場 神戸国際会議場
(神戸市中央区港島中町6-9-1)

主要プログラム

- 基幹講演 30分程度の演題を講演予定
「心身症」の診断と治療 村上 典子
「心身症」の診断と治療 村上 典子
- 特別講演 30分程度の演題を講演予定
「心身症」の診断と治療 村上 典子
「心身症」の診断と治療 村上 典子
- 特別企画 30分程度の演題を講演予定
「心身症」の診断と治療 村上 典子
「心身症」の診断と治療 村上 典子

公式ウェブサイト <http://www.46sinsin.net/>

極的に取り組んでいます。またがんや急病、事故、自死など様々な死別後の遺族の悲嘆援助（グリーフケア）にも力を入れています。

7月26日(土)、第46回日本心身医学会近畿地方会が開催され、村上が会長を務めます。ふるってご参加ください。



第15回日本赤十字社第4ブロック 合同災害救護訓練に参加して

埃が混じる小雨の中、私たち神戸赤十字病院救護班は前半にトリアージ黄テントで、後半は病院を想定したテントで救護活動に参加しました。続々と現場に到着する救急車、飛び交う指示と怒号。ヘリコプターが飛び、倒壊家屋からは煙幕が立ち上り、テントには本物さながらのメイクをした負傷者が次々と運び込まれ…。会場は物々しい雰囲気と緊迫感に包まれていました。来るべき災害に備え、様々な機関が独自の能力を最大限に発揮し、現場で一刻も早い救出救護を行える体制作りが急務であると再認識しました。



5月31日、大阪城公園において、大規模災害を想定した救護訓練が実施されました。
上町断層を震源とする震度6強～7の直下型地震が発生し、大阪市内で甚大な人的・物的被害が発生するという想定のもと、大阪市消防局、府警察本部、陸上自衛隊、大阪DMAT、日赤支部救護班など関連機関が参集し、協力体制の充実を図りました。



お薬 四 方 山 話 13



～「お薬手帳」を
上手に使いましょう！～
薬剤部 池井 健

お薬手帳は以前からありますが、2008年度の医療制度改革により、今後益々普及すると予想されます。そこで、今回はお薬手帳についてのお話です。

お薬手帳は、医師・薬剤師が重複投与や相互作用を確認するための情報源であり、それによってお薬を安全かつ適正に処方・調剤し、ひいては患者さまが安全に服薬するためのお守りとなります。また、手帳をもとに病院、薬局との連絡が円滑に進みます。(病院ごと薬局ごとに別々のお薬手帳を作らないで下さい。上記のことを確認するためには、飲んでいる薬が全て分かるように1冊の手帳に書かれていますことが大切です！)

また、お薬手帳へ記入できるのは薬剤師だけではありません。患者さまご本人やご家族の方が手帳にその状況(症状、熱、血圧、検査値など)や薬の感想などを記入してはいかがでしょう。また、普段服用している健康食品や一般大衆薬を記録されるのも有効です。今後、お薬手帳をご自身の健康帳として、また医師・薬剤師への連絡帳として活用してみてもいいでしょう。

栄養課 だより

16

暑くなると冷たい食事が恋しくなります。19世紀頃に朝鮮半島で誕生した冷麺は半世紀前に伝わり「盛岡冷麺」の名前で広まりました。関西では冷やし中華の事を冷麺と呼んでいます。冷麺の特徴は、①コシの強い麺、②辛いキムチのトッピング、③牛骨ダシ中心の濃厚なスープですが簡単においしく作れる方法をご紹介します。名づけて「棒々鶏麺」です。

- ①肉は蒸してから切る。
- ②麺はかために茹で冷蔵庫で冷やしておく。
- ③きゅうり、根深ねぎ、人参は千切りにして、揃えておく。
- ④中華麺の上に具を形良く盛付、棒々鶏ソースをかけ最後に金ごまをふりかける。

● 棒々鶏麺 ●

エネルギー	498kcal
タンパク質	25.3g
脂 質	9.5g

材料

中華麺	1玉 (160g)
(冷やし中華麺又は蒸し中華麺でも良い)	
鶏むね皮なし	60g 人参 10g
きゅうり	30g 金ごま 1g
根深ねぎ	20g 棒々鶏のソース 50g



基本方針

1. 患者さまを中心として、人権と意思を尊重し、安心と満足が得られる医療を提供いたします。
2. 地域医療機関との連携を保ち、患者さまに一貫した医療を提供いたします。
3. 救急医療、災害救護活動、国際救援活動を行います。
4. 内外の医療従事者の育成に努めます。
5. わたしたちは、日々研修・研鑽し、明るく活力のある職場づくりに努めます。

神戸赤十字病院「患者の権利に関する宣言」

神戸赤十字病院は、医療の中心は患者さまであり、医療行為が患者さまと医療関係者との信頼関係の上に成り立つものであることを深く認識し、ここに、「患者の権利に関する宣言」を制定いたします。

当院の全職員は、この「患者の権利に関する宣言」を守り、患者さまの医療に対する主体的な参加を支援してまいります。

1. 一人の人間として、その人格・価値観などを尊重され、医療提供者との相互の協力関係のもとで医療を受ける権利があります。
2. だれでも、どのような病気にかかった場合でも、良質な医療を公平に受ける権利があります。
3. 病気、検査、治療、見通しなどについて、わかりやすい言葉や方法で、納得できるまで十分な説明と情報を受ける権利があります。
4. 十分な説明と情報提供を受け、納得したうえで、検査や治療方法などを自分の意思で選ぶ権利があります。
5. 自分が受けている診断や治療について、他の医師の意見を求める権利があります。（セカンドオピニオン）
6. 自分が受けている医療を知るために、診療記録の開示を求める権利があります。
7. 研究途上にある医療に関して、目的や危険性などについて十分な情報提供を受けたうえで、それを受けるかどうか決める権利と、何らの不利益を受けることなくいつでも中止を求める権利があります。
8. 診療の過程で得られた個人情報の秘密が守られ、病院内での私的な生活を可能な限り他人にさらされず、乱されない権利があります。

予約センター
救急外来

TEL: (078) 241-9273
TEL: (078) 241-9295

科目		月	火	水	木	金
診察受付1	整形外科 リハビリテーション科	午前 伊藤 康夫 矢形 幸久 塩崎 泰之	長谷川 康裕 杉本 佳久 馬崎 哲朗	伊藤 康夫 中後 貴江 下川 哲哉	長谷川 康裕 矢形 幸久 /	中後 貴江 杉本 佳久 /
	脳神経外科	午前 山下 晴央	/	原 淑恵	山下 晴央	森下暁二(第1・3・5週) 千葉義幸(第2・4週)
	心臓血管外科	午前 原口 知則	築部 卓郎	/	松川 律	築部 卓郎
	呼吸器外科	午前 阪本 俊彦 湯木 毅	/	阪本 俊彦 湯木 毅	/	阪本 俊彦 湯木 毅
	外科	午前 森 隆 岡本 貴大	門脇 嘉彦 田村 竜二	森 隆 石堂 展宏	岡本 貴大 田村 竜二	門脇 嘉彦 石堂 展宏
	麻酔科	午前 担当医	石津友子(ペイン)	担当医	石津友子(ペイン)	担当医
診察受付2	内科(総合)	午前 杉本 啓介	川島 邦博	黒田 祐一	梶本 和宏	藤井 正俊
	内科	午前 國定 浩一	/	川島 邦博	森本 太郎	川島 邦博
		/	/	國定 浩一	/	/
	消化器科	午前 藤井 正俊 熊谷 奈苗	白坂 大輔 長野 秀信	藤井 正俊 黒田 浩平	白坂 大輔 酒井 新	長野 秀信 黒田 浩平
	呼吸器科	午前 梶本 和宏	杉本 啓介	/	杉本 啓介	梶本 和宏
	循環器科	午前 五十嵐 宣明	栗林 佐智子	板谷 真由美	黒田 祐一	村田 武臣
		/	黒田祐一(再診)	/	/	谷口 悠(再診)
診察受付3	神経内科	午前 米田 行宏	/	米田 行宏	山本 真士	/
	心療内科	午前 村上 典子	永岡 三穂	村上 典子	永岡 三穂	村上 典子
		午後 /	村上典子(初診予約)	/	村上典子(初診予約)	/
放射線受付7	放射線科	午前 杉本 幸司	奥野 晃章	森 岳樹	石原 武明	吉田(治療再診)
		午後 /	/	/	/	吉田(治療初診)
診察受付3	小児科	午前 吉新 祥一	吉新 祥一	吉新 祥一	吉新 祥一	吉新 祥一
		午後 田村 京子 (アトピー)	吉新 祥一 (予防接種・乳児健診)	田村 京子 (アトピー)	田村 京子 (アトピー)	/
	眼科	午前 宮崎 茂雄	宮崎 茂雄	宮崎 茂雄	宮崎 茂雄	宮崎 茂雄
診察受付4	皮膚科	午前 /	田中 えり子	/	松田 聡子	/
	泌尿器科	午前 松井 隆	松井 隆	/	野瀬 隆一郎	松井 隆
	耳鼻科	午前 雲井 一夫	貫名 麻紀	雲井一夫(初診予約)	貫名 麻紀	雲井 一夫
	婦人科	午前 佐藤 朝臣	山中 良彦	丸尾 伸之	山中 良彦	佐藤 朝臣

診察受付時間(予約制) 午前9:00~午前11:30

※急患はこの限りではありません。

※部分が変更箇所です。

7月1日から外来診察担当医表が
変更になります